

波郷 記念館 だより

第56号

4th
Anniversary

発行日 2022年6月25日

江東区砂町文化センター
〒136-0073
東京都江東区北砂
5-1-7
電話 03(3640)1751

砂町文化センターでは、毎年、石田波郷記念館企画展を開催しています。今年のテーマは「江東ゆかりの俳人 芭蕉と波郷」(仮)です。現在の江東区、深川と砂町には、時を隔てて、二人の俳人、芭蕉と波郷が居を構えました。江東地域の俳人との交流や江東の地で詠まれた俳句など、芭蕉記念館と石田波郷記念館所蔵資料により展示します。



白鷗画・溪斎賛 芭蕉坐像図

(部分) (芭蕉記念館蔵)



石田波郷

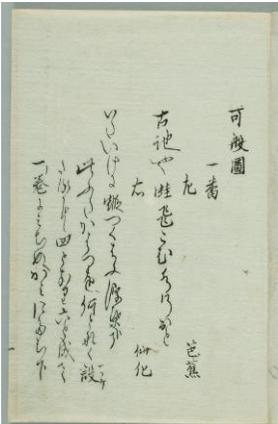
※企画展は、二〇二三年十一月八日(火)から十二月二日(金)、砂町文化センター二階展示ロビーで開催します。

松尾芭蕉と深川

松尾芭蕉は、現在の伊賀国上野赤坂(三重県伊賀市)に生まれ、二十九歳の時に江戸へ出てきます。そして深川(江東区常盤付近)には、三十七歳で庵を結び五十一歳で亡くなるまで住みました。

その間、深川芭蕉庵には多くの俳人が集い、「古池や蛙飛び込む水の音」など、多くの名句が詠まれました。また、「おくのほそ道」をはじめ芭蕉の旅は、この深川芭蕉庵が出发点でした。

展示では、深川芭蕉庵で生まれた作品、地域の人々との交流などを資料で解説します。



『芭蕉翁深川庵図』『芭蕉文集』

一七七三年

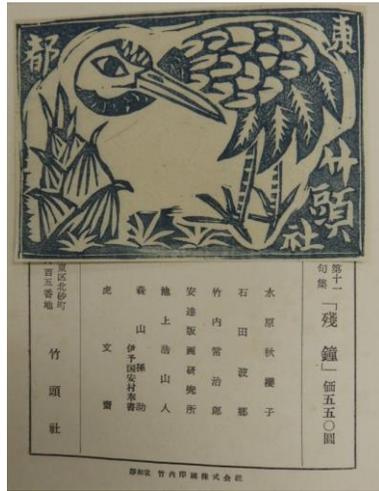
(芭蕉記念館蔵)

『蛙合』仙化編、一六八六年

(芭蕉記念館蔵)

石田波郷と砂町

石田波郷は、垣生（はぶ）村（愛媛県松山市）に生まれ、昭和七年（一九三二）、十九歳の時に上京します。そして北砂町（江東区北砂）には、三十三歳から四十五歳まで住みました。戦後の焦土のなかにあつて、波郷は、俳句活動を精力的に再開させていきます。俳誌「鶴」の復刊、出版社「竹頭社」の設立と句集の刊行等々です。



昭和 27 年、波郷は、自分の好きな句集を出版するため、砂町の玄關に「石田波郷 竹頭社」を掲げた。

※写真は、竹頭社刊行の水原秋櫻子句集『残鐘』奥付。

波郷の砂町時代の交流と活動について、資料から辿れることは、ごく断片的です。限定的にはなりますが、資料をもとに俳人波郷の砂町時代を少しでも明らかにできればと考えています。

芭蕉と波郷

石田波郷は砂町に住む以前、古典を学ぶ研究会を開いていました。「鶴」の俳人などで構成され、テキストは芭蕉が深くかかわった俳諧撰集「猿蓑」でした。



句集『風切』

1943（昭和 18）年

一条書房

四季別に 318 句を所収。句集名は「鶴の風切羽」に由来していません。

波郷は、俳句固有の方法を古典に学び、俳句の韻文精神の徹底を唱えました。そして波郷自身は句集『風切』によって実証してみせました。

初蝶やわが三十の袖袂

葛咲くや孀恋村の字いくつ

槇の空秋押移りあたりけり

霜柱俳句は切字響きけり

『風切』より

砂町文化センターニュース VOL.56

俳句を詠んで七夕飾り

～季節の五・七・五～

短冊に、季節を感じる俳句を詠んで飾りましょう。俳句の作り方についても、ミニ展示で説明しています。

★6/21（火）～8/7（日）

★砂町文化センター1階ロビー

★どなたでも ★無料



写真と俳句のコンテスト

「こども江東歳時記」 作品募集

投句募集 7月10日（日）から 9月10日（土）まで

こころに残った風景、その時感じたキモチを写真と俳句で伝えてみよう！

■対象：小学生～高校生 ■無料

■要項・投句用紙：

江東区内各文化センター、総合区民センター、芭蕉記念館で配布。

またはホームページをご覧ください。

■締切：

9/10（土）必着



二〇二一年度 第七回こども江東歳時記
石田波郷記念館「江東歳時記」賞受賞作品
「れいぞうこ開けっぱなしでアイスでろん」
小学三年 浅川裕将（学年は受賞時）

「こども江東歳時記」関連イベント 6/10から受付中！

こども俳句ワークショップ

砂町文化センター内の庭を講師と歩いて俳句作りに挑戦します。

感じたこと・頭に浮かんだことを俳句に詠んでみよう！

■日時：8月6日（土）9時30分～12時

■場所：砂町文化センター

■対象・定員：

小学生以上の児童と保護者 10組

■料金：30円（保険料ほか）

小学3年生以下は保護者同伴
（その場合60円）

■講師：大谷弘至（俳句結社「古志」主宰）

■お申込み：電話・窓口で（先着順）



2021年度ワークショップ

砂町で吟行&句会を開いてみませんか

【施設のご案内】～句会に～

砂町文化センターでは、「会議室」などをお貸出ししております（有料）。センターには、「石田波郷記念館」、「砂町図書館」が併設されています。図書館には「俳句関連図書コーナー」もあります。

【周辺のご案内】～吟行に～

文化センターの周辺には、石田波郷も歩いた妙久（みょうきゅう）寺や志演（しのぶ）尊空神社、JR貨物小名木川（おなぎがわ）線などがあります。

また、小名木川や仙台堀川公園、江戸時代に建てられた旧大石家住宅（江東区指定文化財）など散策をお楽しみいただけます。

【会議室を利用するには】

3か月前の3日午後1時から、お電話で予約をお受け付けいたします。

（例えば、4月3日午後1時から、7月分の受付を開始します。）

詳しくは、砂町文化センターホームページをご覧ください。お気軽にお問い合わせください。